第２０回 事故事例巡回セミナー開催（水島地区）報告

２０１９／４／３

石油化学工業協会

当協会では、保安管理に関する現場管理職の気づきの機会として、諸先輩等の生の声で、経験、思いを語っていただくセミナーをコンビナート地区に於いて年２回開催しており、今回は水島地区にて行った。

開会にあたって、会場のご準備を頂いた三菱ケミカル㈱理事役 神野水島事業所長から「本セミナーで得た気づきを保安・安全活動に活かし、より安全で皆さんが働きやすい職場を作っていただくとともに、安全をより高いレベルにするために役立ててもらいたい」旨挨拶があった。続いて、主催者代表の保安・衛生小委員会 岩永委員長(三井化学㈱理事 生産・技術本部 安全・環境技術部長)から「本日は２名の講師からご自身の経験を通じた保安・安全に対する熱い思いを語っていただけるものと思う。最後まで傾聴願う」旨挨拶があった。

講演では、参加者が真剣に聞き入る姿が印象的であった。

－ 記 －

１．日　時　　２０１９年３月２７日(水)　１３：３０～１６：４５

２．場　所 水島愛あいサロン（倉敷市環境交流スクエア）コミュニティフロア

３．参加者

製造課長他（水島地区近傍の石化協会員会社事業所等） １７社約１４０名

４．講　演

1. 講師：**渡辺　要** 氏 (元㈱ジャパンエナジー 専門理事 環境安全部長

　 兼　鹿島石油㈱ 安全環境室長)

演題：**『苦い経験から学んだこと　（真剣に考えれば知恵が出る。中途半端だと愚痴が出る）』**

概要：製油所等での約４０年間で味わった、教育、保安管理システム (課題に対するフォローアップまで含めた取組みの管理等)の不備による苦い経験に基づく、アドバイスが示された。特に、事故防止の大きな柱は教育・訓練であり、教えるだけでなく、理解度テストで客観的な評価を行うなど受講者に真剣に取組ませるための工夫について説明があった。

1. 講師：**半田　安** 氏 (元三井化学㈱ 技術研修センター長)

演題：**『化学産業100年　事故から何を学んできたのか』**

概要：石炭化学から現在の団塊世代退職までの過去１００年を振り返り、時代ごとの製造設備・現場の環境の変遷に関する説明に加え、事故の特徴、原因及び得られた教訓について事例を交えながら説明があった。最後に「事故から学ぶものは、そこから得られる貴重な教訓だ。教訓を伝えていかなければ事故は繰り返す」というメッセージで締めくくられた。

 (当日の風景)

以上